Nylon welding rod,有限会社ティークラフト,R06-AA-BB-CC

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: ナイロンロッド（Nylon welding rod）
- 製品品番: 5003R6、R06-AA-BB-CC 他
- 推奨用途: プラスチック溶接機を使用した破損したナイロン部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。火災時や加熱時に刺激性の有毒なフュームや蒸気を放出する可能性あり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。火災や加熱・燃焼時は刺激性の煙や有毒ガスが発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 単一製品（ポリマー）
- 成分情報:
  - ナイロン 6 ポリマー: 含有量 ＞99%、CAS 番号: 25035-54-4

4. 応急処置

- 目に入った場合: 冷たい固形物は眼の刺激を引き起こすとは考えられていない。万が一異物が入った場合は無理にこすらず流水で洗い流すこと。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。溶融した高熱の物質が皮膚に付着した場合は、直ちに氷水または流水で冷却すること。付着物を無理に剥離しようとすると重度の組織損傷を引き起こすため避け、速やかに医師の診断を受けること。
- 吸入した場合: 加熱された材料からの蒸気または煙を長期または反復して吸入し、上気道への刺激等を感じた場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動させること。
- 飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の摂取は想定されず、影響は知られていない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 二酸化炭素（CO2）、ドライケミカル（粉末消火剤）、その他現地の状況に適した消火剤。
- 特有の危険有害性: 火災や加熱にさらされると、刺激性の有毒なフュームや蒸気を放出する。
- 消火作業者の保護: MSHA / NIOSH 承認の圧力要求呼吸器（自給式呼吸器等）および防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 液体材料がこぼれた場合は、冷却して固化させること。材料を回収し、適用される規制に従って廃棄容器に入れること。下水道や水路へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 子供の手の届かないところに保管すること。業務用のみとし、一般への販売を意図していない。すべてのプラスチック材料は静電気を発生する可能性があるため、爆発性混合物の周囲では使用しないこと。
- 保管: 涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。強酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし

- 設備対策: 通常の作業では特別な換気は必要ないが、運転条件によって高濃度のガスまたはフューム（煙）が発生する場合は、全般換気および局所排気装置を設けること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や、換気が得られない場所で作業を行う場合は、適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク等）を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、ゴーグルまたは安全眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 透光性ロッド（クリアロッド）、直径約 1/8 インチ
- 臭い: 無し（特記すべき著しい臭いなし）
- pH: 決まっていない
- 比重（密度）: 1.2 〜 1.6
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 安定
- 避けるべき条件: すべてのプラスチック材料は静電気を発生する可能性があるため、爆発性混合物の周囲での使用。極端な熱。
- 混触危険物質: 強酸化剤との接触を避けること。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない
- 危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。既知の慢性的な影響はないが、高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。加熱時のフュームは上気道を刺激する場合がある。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 本製品についての生態学的情報はありません。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 安全で実用的な場合は材料を回収し、地域の環境課・保健機関や公的規制（廃棄物処理法等）に連絡・従い、承認された方法・施設にて処分を行うこと。
- 容器・包装の適正な処理方法: 公的規制に従って適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（規制されていない / Not Regulated）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019
    - JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。 ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。